

# 養基処理区はどうか 下水道料金の見直し(額・時期)

## 下水道特別委員会

委員長／細野 清野  
副委員長／五十川省五  
委員 北角 正郎  
森嶋 和明  
久保田重男  
牧村 隆  
近岡 斌  
倉地 幸子

11月1日開催  
12月7日開催

11月1日

公共下水道事業について  
十七年度の下水道管路施設工事  
(下八幡・上八幡地区)の進捗状  
況の説明を受け質疑に入る。

**Q** 町全体の整備完了の見通し。

**A** 一期七年四期計画を進めているが、一年早く二期目に入っている。

養基処理区の下水道整備を

- ① 農業集落排水事業
- ② 特定環境保全公共下水道事業(養基処理区)
- ③ 公共下水道事業(池田処理区)の3つで比較検討した。

**Q** 農集・特定環境保全を採用した場合の見直しは。

**A** 農集は汚泥の具体的な循環計画と処理場が確保されれば約6年で整備できるが条件のクリアが困難。

特定環境は揖斐川町と分離した時点で池田だけの理由付けが困難。池田処理区との違いを打ち出すのもむずかしい。

**Q** 料金見直し時期は。見直しの基準は小型合併浄化槽の年間の維持管理費と同じに。

**A** 住民の理解を得ながら早急に見直したい。

12月7日

- ① 公共下水道の工事の進捗状況
- ② 養基地区の下水道事業の整備
- ③ 農集・下水道の使用料金について審議。

養基地区では11月29日に役員対象に説明会を開いた。12月に各区で住民説明を行う予定。

**Q** 下水道専門のワークショップを立ち上げては。

**A** 最重要課題と位置づけ検討したい。

**Q** 農集の耐用年数がきて下水道に接続する場合、直径40cmで対応できるか。

**A** 2倍の余裕で計画してあるので大丈夫。

**Q** 深歩谷・大津谷・白鳥地区の既存施設を有効に活用して計画を見直すべき。

**A** 課題としたい。

料金の改定は第一段階の値上げ  
平成19年4月に現在の一人当たり150円から450円に値上げしたい。

**Q** もっと早急に改正すべき。

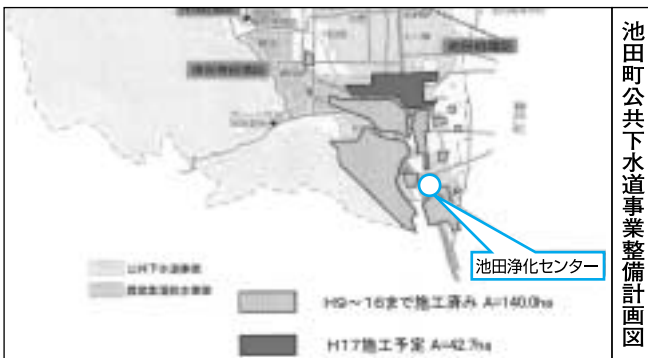
**A** 議会の了解が得られるなら地域説明に入り条例改正したい。遅くとも19年には実現したい。

**Q** 歳出の見直しを。処理場の管理運営委託は入札か。

**A** 合理化特別対策法の関係で入札はしていない。

**Q** 料金に従量制を導入し、あまり利用されていない下水道の利用促進と合わせて検討すべき。基本料金は高すぎる、安くすべき。

**A** 使った量で負担するのが本当だと思いが過渡期の段階であり今後検討したい。  
(継続審査)



下水道普及率(平成16年度末)

	普及率(%)	利用人口(人)	面整備(%)	整備(ha)
農業集落排水	13.14	3,253	35.6	415.0
公共下水道	20.87	5,168	15.7	182.7
計	34.01	8,421	51.3	597.7
町全体		24,756		1,166.0